



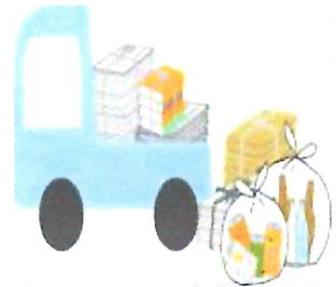
植柳の風

八代市立植柳小学校 校長室便り
平成30年12月17日NO. 119

ふるさとグングン

今年のPTA行事「資源回収」が16日の日曜日の早朝に行われた。天気予報では、午前9時過ぎから雨が強くなるとの予報だったので、午前6時半の態度決定で、少し早めに開始し、早めに終了することを決定。メールで一斉送信した。町内放送も地域に鳴り響き始め、午前7時15分過ぎになると、PTA役員や先生たちも続々と集まり始めた。車の流れなど簡単な段取りを行い、さあ、あとはトラックの到着を待つばかりとなった。

午前8時を過ぎると、トラックが到着し始めた。まるで流れ作業のように、一斉に荷台に積んであるビンや空き缶、ペットボトル、段ボール、新聞紙、諸雑誌などをリサイクル業者のトラックへと運び込む。無情にも午前8時半過ぎから少しずつ雨粒が大きくなってきたが、ひっきりなしに各町内からの軽トラックが到着すると、子どもたちやPTA役員、先生たちが一斉に、キビキビと動く様は圧巻だった。今年は、いつもの11月ではなく、年の瀬の12月というタイミングであったことや、事前のPR等も功を奏し、例年より多くの資源が回収されたことを実感した。



午前9時半過ぎ、最後のトラックの積み出しが完了。この資源回収で得られた益金は、本校の教育活動やPTA活動に有効活用されるだけに貴重である。そのために保護者や地域の方たちの多大なるご支援・ご協力があったわけで、改めて感謝申し上げたい。雨が降っているから中止だと思い、資源回収があっているかをPTA役員にわざわざ電話で確認された地域の方もおられた。夏からこの日のために自宅でペットボトルや空き缶のことをとっていたように、本当に頭の下がる思いである。体育館入り口付近で解散式をし、この日の資源回収は無事に終了した。

ところで、日曜日、朝のNHKの番組で、標題の「ふるさとグングン」という番組をご存知だろうか。人口減少や過疎、子どもの貧困など、様々な課題を抱える日本各地の市町村を地域づくりの達人たちが訪問し、住民の方たちと一緒に魅力的な地域をめざしていく、地域課題解決型ドキュメンタリー番組。実は私も当番組を知らなかったが、何気なくつけたTVをたまたま見て、実に面白い番組だと感じた。16日に放送されたのは、香川県高松市の栗林小学校の取組。今年度、コミュニティ・スクールとしてスタートしたが、PTAや地域の人たちから聞こえてくるのは「今やっている行事で精いっぱい。」「いまさら、新しい取組をと言われても・・・。」とネガティブな声ばかり。そこで、20年以上も前から学校、地域が一体となった活動を展開されてきている千葉県習志野市秋津小学校の岸さんが登場。栗林小学校のPTAや地域人たちの声を聴いて、いろいろ協議した後、「では、実際に秋津小学校を見に来た方が早いでしょう。」と提案。栗林小学校の方たちは、習志野市までははるばるの訪問し、そこで見られたのは、学校と地域が一体となって、田んぼづくりやビオトープ、放課後のバトントワリング教室など、子どもたちが嬉々として活動に取り組む様子だった。

実は、TV番組「ふるさとグングン」の前には枕詞がついており、「明日へつなげよう」という言葉である。本校の日曜日の取組も、まさに明日につながる「ふるさとグングン」の活動であった。

